

カネカ有機EL照明

# KANEKA LUCE F1-WH/BK/BZ/MS

## 取扱説明書





安全にお使いいただくために	p. 2
1 各部の名称と操作方法	p. 8
2 お手入れについて	p. 15
3 故障かな？と思ったら	p. 16
4 製品仕様	p. 17
5 保証とアフターサービス	p. 18


- このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 必要なときにすぐに参照できるよう、取扱説明書をお手元に保管してください。

# 安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。







 <b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。












次のマークは守っていただきたい内容を説明しています。












 <b>禁止（してはいけないこと）を示します。</b>	 <b>指示に基づく行為の強制（実行していただくこと）を示します。</b>
---	--



## 警告

-  **組み立て、分解は工事に依頼してください。**  
組み立てに不備があると火災、感電、転倒によるけがのおそれがあります。  
本製品の組み立て、分解には専門知識と技術が必要なため、工事店にご依頼ください。
-  **発煙や異臭、電源コードの変形や電源プラグが発熱した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**  
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。  
発煙、発熱などがおさまったことを確認して、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検、修理、交換をご依頼ください。
-  **次のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  - ・内部に水や異物が入ったとき
  - ・破損したときそのまま使用すると、火災、感電の原因となります。  
お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検、修理、交換をご依頼ください。
-  **ACアダプタと本体との接続には付属のDC線を使用してください。**  
ACアダプタのDCプラグは本体のDCジャックに適合しません。  
本体のDCジャックには必ずDC線のDCプラグを差し込んでください。  
確実な接続ができないケーブルを使用すると、器具の破損、火災、感電の原因となります。
-  **DC線は1本のみで使用してください。2本以上連結して使用しないでください。**  
器具の破損、火災、感電の原因となります。
-  **交流100Vで使用してください。**  
過電圧を加えると火災、感電の原因となります。

-  **結露しないように使用および保管してください。**  
感電、ショート、破損の原因となります。
-  **屋外には設置、使用しないでください。**  
水濡れなどによる感電、ショート、火災の原因となります。また、部品の劣化、破損の原因となります。
-  **電源プラグにほこりなどがたまった状態で使用しないでください。**  
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災のおそれがあります。また、接触不良による故障の原因となります。  
電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
-  **電源プラグは、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。**  
確実に差し込んでいないと、感電や発熱による火災のおそれがあります。
-  **回転部分に人体や動植物、その他障害物が接触しないようにしてください。**  
けがや物が壊れる原因となることがあります。
-  **お手入れは電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。**  
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。  
また、思わぬ回転によりけがの原因となることがあります。
-  **電源コードを取り扱うときは、次のことをお守りください。**
  - ・加工したり、傷つけたりしない
  - ・加熱しない
  - ・重いものを載せたり、ドアなどにはさまない
  - ・無理に引っ張ったり、曲げたりしない
  - ・ねじれた状態で使用しない
  - ・束ねたりしない充電部露出による感電、ショート、火災の原因となります。
-  **コンセントの定格を超えないようにお使いください。**  
タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
-  **電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**  
電源コードや電源プラグが傷つき、火災、感電の原因となります。  
電源プラグを持って抜いてください。
-  **修理、改造、分解、水洗いはしないでください。**  
火災・感電・破損の原因となります。  
点検、調整、修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。
-  **水滴がかかる場所で使用しないでください。**  
火災、感電、故障、破損の原因となります。  
本製品は防湿・防雨対応型ではありません。

-  **ぬれた手で触らないでください。**  
感電、故障、破損の原因となります。
-  **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。**  
感電のおそれがあります。
-  **本製品の交換を行う場合は電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。**  
通電状態で行うと感電、故障、破損の原因となります。
-  **燃えやすいものの近くで使用しないでください。**  
火災、やけどのおそれがあります。
-  **布や紙などの燃えやすいものをかぶせたりしないでください。**  
火災、やけどのおそれがあります。
-  **器具のすき間にものを差し込まないでください。**  
火災、感電のおそれがあります。
-  **回転部分の端に手や指を入れないでください。**  
固定部分との間で手や指が挟まり、切断、骨折などの重篤なけがの原因となるおそれがあります。
-  **お手入れや清掃時に可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しないでください。**  
清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本製品に使用すると、噴射される可燃性ガスが本製品の内部に溜まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。
-  **本製品上にものを置かないでください。**  
金属類や花びん、コップ、化粧品などの液体が内部に入った場合、火災、感電の原因となります。  
また、転倒した場合、けがの原因となります。  
ものを置いた状態で回転した場合、ものが落下して、破損の原因となります。
-  **周辺温度は5℃～35℃の範囲で使用してください。**  
絶縁不良・火災・感電の原因となります。
-  **高温になる場所（直射日光の当たる場所、ストーブのそばなど）に設置しないでください。**  
火災、感電の原因となることがあります。また、部品の劣化、破損の原因となることがあります。



## 注 意



### 定期的に点検してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・転倒などのおそれがあります。照明器具には寿命があります。設置して10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検を行ってください。



### 点灯中または消灯直後に器具に触れないでください。

点灯中または消灯直後は器具の温度が上昇していることがあり、やけどのおそれがあります。



### 長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源が切れていてもわずかに電力を消費します。  
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



お手入れの際は有機溶剤やアルカリ性、強酸性、塩素系の洗剤を使用しないでください。強度が低下してしまうため、破損し、感電のおそれがあります。また、変色のおそれがあります。

お手入れは乾いたやわらかい布でふき取ってください。

汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませて良く絞ったやわらかい布で汚れた部分を軽くふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。



### 本製品にもたれかからないでください。

破損の原因となることがあります。また器具の転倒によるけがのおそれがあります。



### ものを立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。

他のものがからまると、予想外の大きな力が発生し、器具の転倒によるけがや破損の原因となります。



### 回転部だけを持って、本製品を移動させないでください。

回転部とベースが外れ、器具の破損や怪我、物損の原因となるおそれがあります。本製品を移動する際は、ベースの部分を持つようにしてください。



### リモコンに使用している乾電池は、次のことをお守りください

- ・指定の乾電池を使用し、【+】と【-】を正しく入れる
- ・充電、加熱、分解、ショートしたり、火の中に入れない
- ・[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った乾電池をリモコンに入れたままにしない
- ・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない

液漏れ、破裂などによって、やけどやけがの原因となることがあります。

もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療を受けてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

### ●機器認定について

本製品は、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、使用するときには無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本体およびリモコンを分解／改造する
- 本体およびリモコンに貼ってある保証ラベルをはがす

### ●操作可能範囲について

本製品で使用している無線技術は、およそ10mまでの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって操作可能有効範囲は変動します。使用の際は、本体とリモコンとの間に障害物が入らないようにしてください。

### ●周波数について

本製品は2.4GHz帯の2.4000GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

#### 本製品使用上の注意事項

使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の省電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品もしくは「他の無線局」の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

## その他のご注意

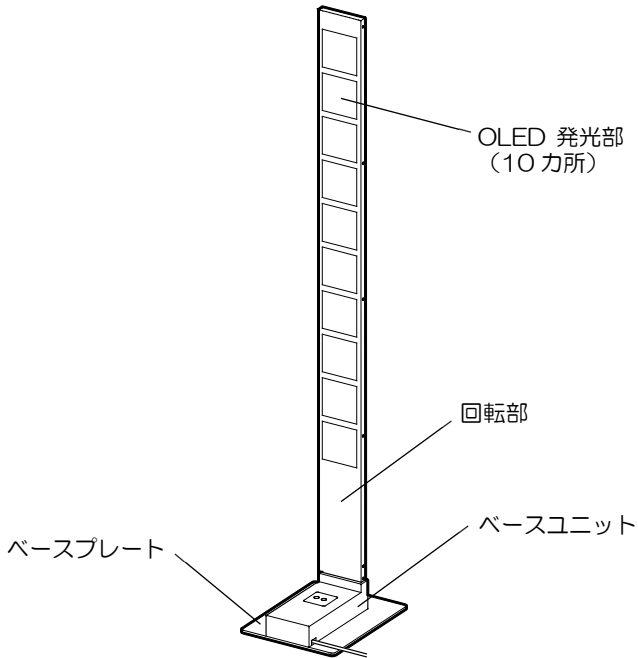
---

- 本体を強くこすらないでください。発光部は透明プラスチックを使用しているため、強くこするとキズの原因となります。
- 屋外など紫外線が当たる場所で使用しないでください。紫外線により通常より劣化が早く進行します。
- 廃棄する際は、各自治体の規定に従ってください。本器具は不燃物相当です。
- 回転部を無理に動かさないでください。お手入れの際や動かない場合に無理に動かすと、器具破損の原因となることがあります。

# 1 各部の名称と操作方法

本製品の各部の名称と操作方法を説明します。

## 本体



## 注意

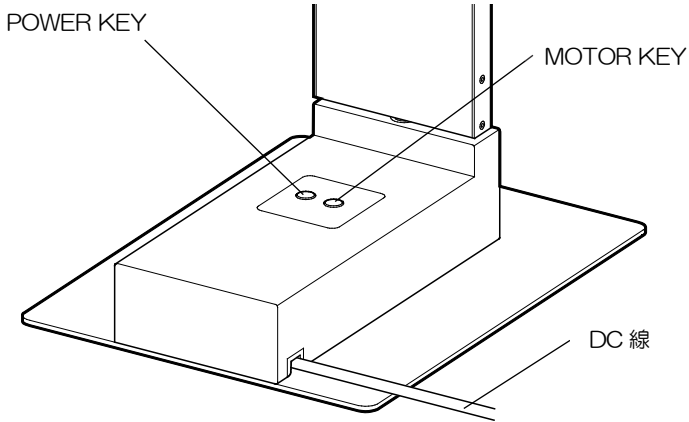


回転部だけを持って、本製品を移動させないでください。

回転部とベースが外れ、器具の破損や怪我、物損の原因となるおそれがあります。  
本製品を移動する際は、ベースの部分を持つようにしてください。



●ベース



① POWER KEY	本体を点灯したり、消灯したりするときに使います。 点灯中に押すことで、明るさの変更もできます。
② MOTOR KEY	回転部を回転させるときに使います。

本体のKEY（ボタン）で操作する

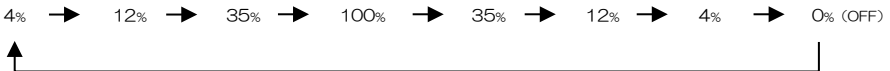
本体のKEY（ボタン）を押すと、照明の点灯／消灯、明るさ、角度の調節ができます。

●点灯／消灯する

点灯する	「POWER KEY」を押します。
消灯する	「POWER KEY」を2秒以上押し続けます。 次に点灯するときには、消灯したときの明るさで点灯します。

●明るさを調節する

点灯時に「POWER KEY」を押すたびに、次の順番で明るさが変化します。



最後に押したときから60秒間経過してから「POWER KEY」を押すと、1段階前の明るさで点灯します。

例1：35%点灯に設定直後に「POWER KEY」を押すと、100%で点灯します。

例2：100%点灯に設定してから、60秒経過後に「POWER KEY」を押すと、35%で点灯します。

## ●光の角度を調整する

「MOTOR KEY」を押すたびに15° 回転します。

360° の回転限界角度に達した後は、回転方向が反転します。

「MOTOR KEY」を2秒以上押し続けると、回転方向が逆になります。

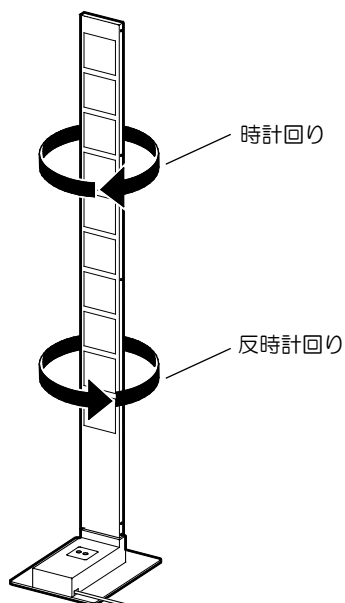
### 可動範囲

---

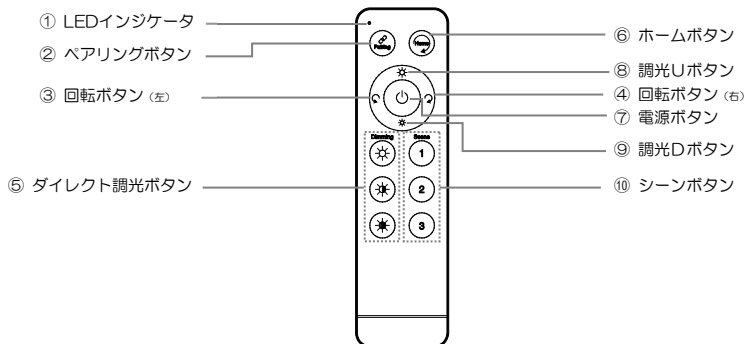
ホーム位置から時計回りに360° が可動範囲です。

「MOTOR KEY」で角度を調整する場合、時計回りに360° まで回転した後は、回転方向が反転し反時計回りになります。

リモコンで操作する場合は「回転ボタン（右）」で時計回り、「回転ボタン（左）」で反時計回りに回転します。



## リモコン



① LEDインジケータ	操作時に点灯し、動作状況や電池状態を表示します。
② ペアリングボタン	本体とリモコンをペアリング（登録）します。
③ 回転ボタン（左）	回転部が反時計回りに回転します。
④ 回転ボタン（右）	回転部が時計回りに回転します。
⑤ ダイレクト調光ボタン	プリセット値（100%、50%、1%）の明るさにします。
⑥ ホームボタン	回転部をホーム位置に戻します。
⑦ 電源ボタン	電源を入れます／電源を切ります。
⑧ 調光Uボタン	段階的に明るくなります。
⑨ 調光Dボタン	段階的に暗くなります。
⑩ シーンボタン	光の明るさと角度（シーン）を記憶／再生します。

## リモコンに乾電池を取り付ける

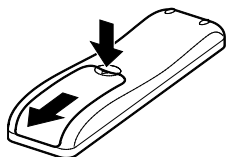
---

リモコンは、市販の単4形乾電池2本を使用します。

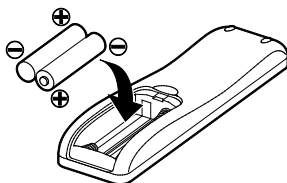
メモ

- ・ 製品付属の乾電池は、動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- ・ リモコン左上の「LEDインジケータ」が点灯しなくなったときは、乾電池の交換時期です。

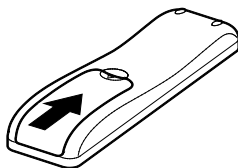
### 1 リモコン裏側のふたを押しながら引き上げる



### 2 ケース内部の表示通りに【+】と【-】を合わせて乾電池を入れる



### 3 ふたを元に戻す



## 本体とリモコンをペアリングする

---

本体とリモコンが通信できるように、本体にリモコンを登録（ペアリング）します。

**メモ** 工場出荷時に同梱されている本体とリモコンとがペアリングされています。本体に付属のリモコンを使って操作するときには、ペアリングの必要はありません。

**ご注意** ペアリングすることで1台のリモコンで複数台の本体を操作することもできます。このときは接続相手を特定するために、ペアリングが必要です。

**1** リモコンの「ペアリングボタン」をLEDインジケータが点滅を開始するまで押し続ける

**2** リモコンのLEDインジケータが点滅している間に、本体の「POWER KEY」を4秒以上押し続ける

本体の照明部分が3回点滅するとペアリング完了です。

**3** 本体の「POWER KEY」から手を離す

**メモ** リモコンのペアリングモード（LEDインジケータの点滅）は、1分間続きます。ペアリングモードを終了する場合は、リモコンの「電源ボタン」を押してください。

## リモコンで操作する

---

リモコンを使って、点灯／消灯、明るさ／角度の調節、シーンの記憶／再生ができます。

### ●点灯する／消灯する

点灯する	「電源ボタン」を押します。
消灯する	「電源ボタン」を押します。 次に点灯すると、前回消灯したときの明るさで点灯します。

### ●明るさを調節する

調光Uボタン	現在の明るさから段階的に明るくなります。 押し続けると連続して明るくなります。
調光Dボタン	現在の明るさから段階的に暗くなります。 押し続けると連続して暗くなります。
ダイレクト調光ボタン	あらかじめ設定された明るさ（100%、50%、1%）で点灯します。

●光の角度を調整する

左右の回転ボタン	角度を調整します。右の「回転ボタン」で回転部が時計回りに、左の「回転ボタン」で回転部が反時計回りに回転します。 「回転ボタン」を押し続けると連続して回転します。好みの角度で「回転ボタン」を離します。 回転限界角度になると回転が停止します。
ホームボタン	「ホームボタン」を押すと、決められたホーム位置まで回転部が戻ります。

●シーンを登録する／呼び出す

明るさと光の角度の組み合わせを「シーン」として、3種類まで登録できます。

リモコンの3つの「シーンボタン」に1種類ずつシーンを登録できます。

・シーンを登録する

① 登録したい明るさ、光の角度に調整する

② リモコンの1～3のいずれかの「シーンボタン」を数秒間押し続ける

リモコンのLEDインジケータが点滅すると、登録が完了です。

「シーンボタン」に明るさと角度が登録されます。

・シーンを呼び出す

① 「シーンボタン」を押す

「シーンボタン」に登録された、明るさと角度に変更されます。

## 2 お手入れについて

本体のお手入れは電源を切って、発光部やその周辺の温度が下がったことを確認してから行ってください。

- 本体を水洗いしないでください。
- 本体金属部分をクレンザー、たわしで磨かないでください。傷や腐食の原因になります。
- 本体は乾いたやわらかい布でふき取るか、薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、良く絞ってから汚れた部分を軽くふき取ってください。
- 本体にアルカリ性、弱酸性、塩素系洗剤、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、殺虫剤などは使用しないでください。

# 3 故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	リモコンの乾電池が消耗している	・リモコンの乾電池（単4型乾電池2本）を新しいものに交換する
	電源プラグが外れている	・電源プラグをコンセントに差し込む
	DCプラグが外れている	・ACアダプタのプラグを、DC線のDCジャックに差し込む（本体とDC線の接続が外れている場合は、工事店にご相談ください）
回転しない	リモコンの乾電池が消耗している	・リモコンの乾電池（単4型乾電池2本）を新しいものに交換する
	電源プラグが外れている	・電源プラグをコンセントに差し込む
	DCプラグが外れている	・ACアダプタのプラグを、DC線のDCジャックに差し込む（本体とDC線の接続が外れている場合は、工事店にご相談ください）
	回転限度角度に達している	・回転方向を逆にする
	回転位置の取得に失敗している	・リモコンの「ホームボタン」を押してホーム位置に戻す
	回転位置がずれている	・リモコンの「ホームボタン」を押してホーム位置に戻す
リモコンで操作できない	リモコンの乾電池が消耗している	・リモコンの乾電池（単4型乾電池2本）を新しいものに交換する
	本体とリモコンの間に障害物（人体、金属など）などがある 本体とリモコンの距離が遠い	・障害物が入らないようにする ・本体とリモコンをできるだけ近づけて操作する
	無線LANや電子レンジ、その他電磁波が発生している場所で使用している	・無線LAN機器を本体およびリモコンから離す ・近い距離で使用する場合は、無線LAN機器の電源を切る ・電子レンジの電源を切る ・本体とリモコンをできるだけ近づけて操作する
	本体とリモコンのペアリングが無効になっている	・ペアリングの設定を行う （「本体とリモコンをペアリングする」(→p.13)）



# 4 製品仕様

## ●本体

電源	ACアダプタ*1 (入力 AC100V 50/60Hz共用)
消費電力	60W
本体サイズ	220mm (W) × 1,260mm (H) × 270mm (D)
本体重量	5,200g (ベースプレートを含む)

※1：ACアダプタおよび電源コードは、付属品以外は使用しないでください。付属品のACアダプタおよび電源コードの型名は次のとおりです。

- ACアダプタ (型名：UNI390-2437)
- 電源コード (型名：6WAK42722JPO2P)

ご注意

### ACアダプタおよび電源コードについて

この製品に同梱されたACアダプタおよび電源コードは、この製品以外の電気機器には使用できません。

## ●リモコン

通信方式	無線式
使用周波数帯域	2.4GHz (2.4000GHz~2.4835GHz)
最大操作可能距離	約10m (可能距離は目安です。周辺環境により操作可能距離は変化する場合があります)
電源	単4乾電池2本

## 5 保証とアフターサービス

本製品の保証、使い方、お手入れ・修理などのアフターサービスについては、お買い上げの販売店、工事店にご相談ください。

# MEMO

---

KANEKA LUCE F1-WH/BK/BZ/MS 取扱説明書

Document No. OBD-107-002/002

2017年5月第2版

Printed in Japan

© Kaneka Corporation 2016-2017

株式会社カネカの許可なく複製、改変などを行うことはできません。

株式会社カネカ

OLED事業開発プロジェクト

〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32 (アーク森ビル)

TEL (03) 5574-8009 FAX (03) 5574-6161